

津久見市「人口ビジョン」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の全体像

人口ビジョン（平成27年10月策定）

■今後ますます人口減少が加速

現状のままでの推計

平成22年：19,916人
平成32年：16,838人
平成42年：13,860人
平成52年：11,064人
平成62年：8,670人
平成72年：6,816人

人口
1万人
未満に…

（国立社会保障・人口問題研究所の推計に準拠）

■短期・中期・長期的観点に立った将来人口の展望

◆短期的展望（～5年）

平成32年に合計特殊出生率1.57の回復と隣接市への転出の抑制

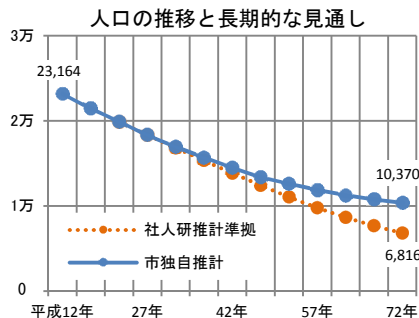
◆中期的展望（～20年）

平成47年に合計特殊出生率2.04と20代～30代の転入超過の実現

◆長期的展望（～45年）

平成52年以降合計特殊出生率2.20と社会増減の均衡の実現

平成72年に人口1万人を維持



総合戦略【平成27年度～令和2年度の6か年】

（平成27年10月策定 平成29年3月改訂 令和2年3月改訂）

※KPI…Key Performance Indicator の略

基本目標

1. 住みたい、
住み続けたい、
魅力あるまちへ

2. 子育て世代に選ばれる、
産み、育てやすい
環境づくり

3. 安定した雇用の創出と
労働力の確保

総合戦略において目指すもの

- ◆若い世代（20～40歳代）について、現在推計される人口減少数値（社会減）を、今後6年間で合計50人抑制する。
- ◆将来の合計特殊出生率2.20実現に向け令和2年合計特殊出生率を1.57へ回復する。
- ◆令和2年度において、平成26年度の市内就業者数を維持する。

基本的方向・具体的な施策・主な重要業績評価指標（KPI※）

1. 住みたい、住み続けたい、魅力あるまちへ

①安心して暮らせるまち、暮らしにやさしい 活気あふれるまちづくり

- ・生活環境整備
- ・住宅施策
- ・賑わいの創出
- ・暮らしや交流に必要な情報発信の充実

②誰もが活躍できるまちへ

- ・地域コミュニティの活性化
- ・健康増進対策の充実
- ・生きがいづくり

- ◆新築戸数⇒50戸/年【平成26年：38戸/年】
- ◆空き家バンク、定住支援施策活用件数⇒10件/年
- ◆健康マイレージなどを通じた国民健康保険加入者特定健診受診率の向上
⇒令和2年度目標65%【平成25年度：41.4%】
- ◆令和2年度の要介護認定率⇒県平均を下回る
【平成26年度末：市19.5% 県19.3%】
- ◆地区ごとの祭りや供養踊りといった伝統行事や体育行事など、住民のつながりを深める区単位の主要な地域活動
⇒令和2年度において平成26年度比10%増
【平成26年度：288件】

2. 子育て世代に選ばれる、 産み、育てやすい環境づくり

①子どもを産み育てやすい環境づくり

- ・出会いに関する支援
- ・出産・子育てに関する支援

②未来を担う子どもの教育の充実

- ・幼児教育の充実
- ・学校教育の充実
- ・津久見高校との連携強化と魅力向上
- ・郷土愛の醸成

- ◆年間の婚姻数⇒令和2年度目標65組/年
【平成25年：52組】
- ◆年間の出生数⇒令和2年度目標110人/年
【平成25年：113人】
- ◆全国学力・学習状況調査、大分県学力定着状況調査
⇒令和2年度目標 全教科が全国平均以上
【平成26年度：小6…1/4科目 中3…0/4科目 小5…0/6科目 中2…3/8科目】
- ◆大分県学力定着状況調査（小5）における「自分のことが好きである」の割合
⇒令和2年度目標60%以上【平成26年度：56.6%】
- ◆市内中学校から津久見高校への進学率
⇒令和2年度目標50%以上【平成26年度：49.0%】

3. 安定した雇用の創出と労働力の確保

①地域資源を活用した産業の継承、再生、活性化

- ・後継者、新規就業者対策
- ・農水産物の高付加価値化（製品のブランド化）
- ・空き店舗対策などによる商業活性化
- ・地場の事業者の育成・支援
- ・若年者や女性の市内での就職支援
- ・U/Iターンの促進

②新たな創業への支援

- ・創業の希望をかなえる環境づくり

- ◆第1次産業への新規就業者数⇒2人/年
- ◆津久見高校新規卒業者の市内事業所への就職者数
⇒30人/年【平成26年度：25人/年】
- ◆新規創業店舗数⇒1件/年